

アスパラガス伏せ込み促成栽培における 亜リン酸肥料の葉面散布時期

福島県農業総合センター 会津地域研究所

1 部門名

野菜 - アスパラガス - 作型・栽培型

2 担当者

芳賀紀之・鈴木宏和

3 要旨

アスパラガスの根株の充実を図るため、株養成畑での亜リン酸肥料(葉面散布)の散布時期が伏せ込み収量に及ぼす影響について検討した。

- (1) 夏散布(8月下旬から10日間隔で4回)区、秋散布(10月上旬から5日間隔で4回)区、無処理区を設定した。
- (2) 掘り取り後の根株重に差はみられないが、貯蔵根糖度は夏散布区が最も高かった(表1)。
- (3) 伏せ込み後の規格内収量は夏散布区で最も多く、無処理区に比べて9%増収した(図1)。
- (4) 以上のことから、亜リン酸肥料の葉面散布時期は、根株の充実と収量性の向上が期待できる、生育最盛期(8月下旬頃)が適すると考えられた。

表1 根株重と貯蔵根糖度

区	根株重 (kg)	貯蔵根糖度 (brix%)
夏散布	1.34 ± 0.07	23.8 ± 0.3
秋散布	1.27 ± 0.14	23.5 ± 0.9
無処理	1.26 ± 0.12	22.7 ± 0.1

注) ±の左記は平均値を、右記は標準誤差を示す。

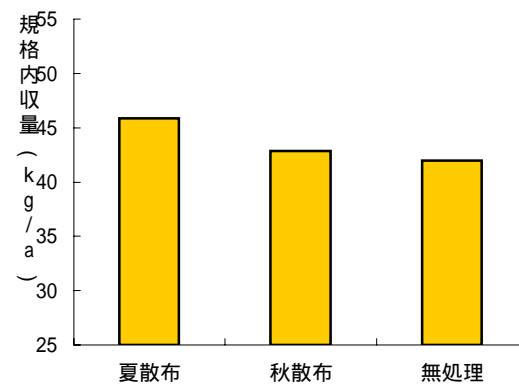


図1 伏せ込み後の規格内収量

4 主な参考文献・資料

- (1) 平成19、20年度福島県農業総合センター試験成績概要(2007、2008)